

教科	科目	学年	単位数
中学校技術・家庭	家庭分野	1年	1
使用教科書		副教材	
技術・家庭 家庭分野（開隆堂）			

1. 学習到達目標

衣・食・住などに関する実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<p>家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>主に定期テスト・作品をもとに評価する。</p>	<p>家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>主に定期テスト・ワークシート・調べ学習をもとに評価する。</p>	<p>自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>主に提出物・持ち物・授業態度をもとに評価する。</p>

3. 学習内容（右ページ参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ・毎日の生活そのものが学習題材となるので、身の周りのいろいろなものに関心を持って疑問や知りたいことを見つけましょう。
- ・家庭科は実習、発表など生徒自身が主体となる授業内容が多くあります。積極的に授業に取り組みましょう。
- ・授業で学んだことは、できるだけ自分の生活の中で実践してみましょう。

	月	単元・試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期	4	○ガイダンス	・今の自分とこれから	・これまで自分を支えてくれた人、もの、エピソード、これから家庭科で学びたいことをまとめます。
	5	○家族・家庭生活	・家庭のはたらきと家庭の仕事 ・様々な家族・家庭	・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解します。家庭での自分の役割について考えます。 ・多様な家族や家族関係を知り、他者を理解することの大切さについて学びます。
	6	○衣生活 期末試験	・衣服のはたらきと手入れ	・羊毛、綿花、麻、化学繊維にふれてそれぞれの特徴について学習します。 ・環境に配慮した洗たくの仕方を学習します。 ・家庭で実際に洗濯を体験し、レポートにまとめます。
	7		・衣服の選択と着方 ・体育祭ハチマキの製作	・衣服の目的に応じた着方、個性を生かした着方について学習します。 ・和服と洋服の構成の違いを学習します。 ・ゆかたの着用体験をします。 ・ミシンを使い、三つ折り・端ミシンの技術を身につけます。アイロンのかけ方、待ち針の使い方について理解します。
二学期	9	○消費生活・環境 期末試験	・生活を豊かにするものの製作（ファスナーポーチ）	・小物を収納できるファスナーポーチをミシンで製作します。
	10			・ミシンの正しい扱い方、ミシン縫いの基礎を身につけます。ミシンの糸かけの実技テストを行います。
	11		・家庭生活と消費	・消費生活のしくみを理解し、消費者として有効にお金を使えるように意識を高めます。
	12		・購入・支払と生活情報	・いろいろな販売方法の利点や問題点について考えます。 ・いろいろな支払い方法の特徴について学習します。
三学期	1	学年末試験	・消費者被害と消費者の自立	・消費者の基本的な権利と責任について学習します。 ・契約について理解します。
	2		・持続可能な社会に向けて	・自分の消費生活をふり返り、問題点を見つけます。 ・環境に配慮した消費生活の工夫について考えます。
	3		・調理実習（カップケーキ）	・調理室の使用方法を学びます。